

高レベル放射性廃棄物ってどんなもの？ 安全な処分方法は？どこまで進んでいるの？

あすかエネルギーフォーラムでは2006年に「原子力発電100の用語」アンケートを実施しました。その結果、私達が最も知りたいのは発電後に残される放射性廃棄物、とりわけ危険度の高い「高レベル放射性廃棄物」についてであることがわかりました。

そこで 原子力バックエンド工学の専門家、東北大学の柝山 修先生をお招きし、勉強会を開催します。皆で話し合いながら、しっかり勉強してみませんか？

2008 年

2月2日(土)

13:00~16:30 (開場 13:00)

会場: 虎ノ門パストラル ホテル
8階 けやき
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-1
TEL.03-3432-7261(代)



とち やま おさむ 柝山 修先生プロフィール

昭和 44 年 : 京都大学大学院理学研究科修士課程修了
昭和 46 年 : 東北大学工学部助手
昭和 57 年 : 東北大学工学部助教授
平成 15 年 : 東北大学大学院工学部教授を経て現在、
東北大学多元物質科学研究所教授
原子力安全委員会専門委員・経済産業省総合資源工
ネルギー調査会臨時委員

専門分野は原子力バックエンド工学。
超ウラン元素の溶液化学が研究の主テーマであり、
これに関連する放射性廃棄物の地層処分の安全評
価など原子力バックエンドの諸問題の解決に取り組
まれています。

- 第一部**
9:30 活動報告&意見交換会
12:00 昼食・休憩
- 第二部**
13:00 講演
講師 柝山修教授
「高レベル放射性廃棄物について」
14:35 休憩
14:45 グループディスカッション
15:55 発表
16:25 講評
16:35 閉会